



プログラム可能レポート

[プログラム可能レポート (Programmable Reports)] アプリケーションでは、Python 2.7 スクリプトを使用してレポートを生成できます。レポートジョブは、レポートを生成するために実行されます。各レポートジョブは複数のレポートを生成できます。特定のデバイスまたはファブリックに対して実行するレポートをスケジュールできます。これらのレポートは、デバイスに関する詳細情報を取得するために分析されます。

[REPORT] テンプレートタイプは、[プログラム可能レポート (Programmable Reports)] 機能をサポートするために使用されます。このテンプレートには、[UPGRADE] と [GENERIC] の2つのテンプレート サブタイプがあります。REPORT テンプレートについて詳細は、[レポート テンプレート](#)を参照してください。レポート生成を簡素化するために Python SDK が提供されています。この SDK は Nexus ダッシュボード ファブリック コントローラ にバンドルされています。



- (注) Jython テンプレートは 100k バイトの最大ファイルサイズをサポートします。いずれかのレポート テンプレートがこのサイズを超えると、Jython の実行が失敗する可能性があります。

Nexus ダッシュボード ファブリック コントローラ UI ナビゲーション

Cisco Nexus ダッシュボード ファブリック コントローラ Web UI でプログラム可能なレポートを起動するには、[オペレーション (Operations)] [プログラム可能レポート (Programmable Reports)] を選択します。>

[レポート (Reports)] ウィンドウが表示されます。このウィンドウには、[レポート定義 (Report Definitions)] タブと [レポート (Reports)] タブがあります。[レポートの作成 (Create Report)] をクリックすると、両方のタブからレポートを作成できます。レポートジョブの作成については、「レポートジョブの作成」を参照してください。[更新 (Refresh)] アイコンをクリックしてウィンドウを更新します。



- (注) Cisco DCNM 11.5 から Nexus ダッシュボード ファブリック コントローラ リリース 12.0.1a にアップグレードした場合、レポートジョブおよび SAN ユーザ定義レポートは移行されません。手動で再度作成する必要があります。

この章は、次の項で構成されています。

- レポートの作成 (2 ページ)
- レポート定義 (4 ページ)
- レポート (6 ページ)

レポートの作成

[操作 (Operations)] > [プログラマブル レポート (Programmable Reports)] を選択します。
[Create Report] をクリックします。[レポートの作成 (Create Report)] ウィザードが表示されます。

レポート ジョブを作成するには、次の手順を実行します。

手順

ステップ 1 [レポート名 (Report Name)] フィールドにレポート ジョブの名前を入力します。

ステップ 2 [Select Template (テンプレートの選択)] をクリックします。

ステップ 3 ドロップダウンリストからレポートテンプレートを選択し、[選択 (Select)] をクリックします。

選択したテンプレートに基づいて、画面に表示されるフィールドに必要な値を入力します。

ステップ 4 [次へ (Next)] をクリックして、[ソースと繰り返し (Source & Recurrence)] のステップに進みます。

ステップ 5 レポート ジョブを実行する頻度を選択します。

次の表に、使用可能なオプションとそれらの説明を示します。

使用可能な方法	説明
現在	レポートは直ちに生成されます
毎日	レポートは、開始日と終了日の間の指定された時刻に毎日生成されます。
毎週	レポートは、開始日と終了日の間に指定された時刻に週に1回生成されます。
毎月	レポートは、開始日と終了日の間に指定された時刻に月に1回生成されます。
Periodic	レポートは、指定された開始日と終了日の間の期間に定期的に生成されます。レポート間の時間間隔は、分単位または時間単位で指定できます。

(注) 定期的な NVE VNI カウンタ レポートを作成する場合は、レポート生成の間隔を 60 分以上に設定する必要があります。間隔が 60 分未満の場合は、エラーメッセージが表示されます。

ステップ 6 レポートを電子メールで送信する場合は、[電子メールレポート先 (Email Report To)] フィールドに電子メールの ID またはメーカーの ID を入力します。

[設定 (Settings)] [サーバ設定 (Server Settings)] [SMTP] タブで SMTP を設定する必要があります。データ サービスの IP アドレスがプライベート サブネットにある場合は、SMTP サーバーのスタティック管理ルートを Cisco Nexus Dashboard クラスタ設定に追加する必要があります。

ステップ 7 [デバイスの選択 (Select device(s))], [ファブリックの選択 (Select fabric(s))], または [VSAN の選択 (Select VSAN(s))] エリアでデバイス、ファブリック、または VSAN を選択します。

(注) 選択したテンプレートに基づいて、デバイス、ファブリック、または VSAN が読み込まれます。

ステップ 8 [Save (保存)] をクリックします。

新しいレポートが作成され、[レポート (Reports)] タブに表示されます。

レポート テンプレート

各レポートテンプレートには、いくつかのデータが関連付けられています。Nexus ダッシュボード ファブリック コントローラ で有効にした機能に応じて、使用可能なレポートテンプレートの一部は次のとおりです。

- Inventory_Report
- Performance_Report
- Switch_Performance_Report
- fabric_cloudsec_oper_status
- fabric_macsec_oper_status
- fabric_nve_vni_counter
- fabric_resources
- sfp_report
- switch_inventory

上記のテンプレートに加えて、作成した他のテンプレートもここに表示されます。デフォルトテンプレートとカスタマイズされたテンプレートの作成の詳細については、「テンプレートライブラリ」を参照してください。テンプレートは、関連するタグに基づいてリストされます。

Inventory_Report、**Performance_Report**、**Switch_Performance_Report** は、パフォーマンス管理レポートに使用されます。

レポート定義

[レポート定義 (**Report Definitions**)] タブには、ユーザが作成したレポートジョブが表示されます。

このタブで次の情報を表示できます。

フィールド	説明
タイトル (Title)	レポートジョブのタイトルを指定します。
テンプレート	テンプレート名を指定します。
範囲	レポートの範囲を指定します。
スコープタイプ	デバイスまたはファブリックのレポートを生成するかどうかを指定します。
ステータス	レポートのステータスを指定します。ステータスメッセージは次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> 正常：レポートが正常に生成されました。 スケジュール済み：レポート生成スケジュールが設定されています。 実行中：レポートジョブが実行中です。 失敗：1つ以上の選択されたスイッチ/ファブリックでレポートの実行に失敗したか、レポートジョブの実行中に問題が発生しました。 不明：ジョブの状態を特定できませんでした。
スケジュール	レポートの実行をスケジュールする時刻を指定します。
前回の実行時間 (Last Run Time)	レポートが最後に生成された時刻を指定します。
ユーザ	レポート生成を開始したユーザを指定します。
繰り返し	レポートが生成される頻度を指定します。

フィールド	説明
内部	レポートがユーザによって生成されるか、ユーザまたは Nexusダッシュボードファブリックコントローラによって生成されるかを指定します。レポートがユーザによって生成された場合、値は false です。

このタブで次のアクションを実行できます。



(注) 内部レポート定義に対してこれらのアクションを実行することはできません。

アクション	説明
編集	レポートを編集できます。 (注) レポート名とテンプレートは変更できません。
レポートの再実行	レポートを再実行できます。再実行オプションを使用して、スケジュールされた実行時間の前にレポートを生成できます。
履歴	レポート ジョブ履歴を表示できます。 [ジョブ履歴 (Job History)] ウィンドウが表示されます。レポート ジョブごとに複数のエントリを表示できます。 (注) 表示される定義の数は、 [設定 (Settings)] > [サーバ設定 (Server Settings)] > [レポート (Reports)] タブの次の設定によって定義されます。これらの値に基づいて、レポートと履歴が消去されます。 <ul style="list-style-type: none"> • レポート定義全体の履歴の最大数 • レポート定義あたりの最大レポート数
削除	レポート ジョブを削除できます。

レポート

[レポート (Reports)] タブには、ユーザが実行したレポートが表示されます。

このタブで次の情報を表示できます。

フィールド	説明
タイトル (Title)	<p>レポートのタイトルを指定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> レポートのタイトルを1回クリックすると、サマリーパネルにスライドが表示されます。 レポートのタイトルをダブルクリックすると、[詳細とコマンド (Details and Commands)] ウィンドウが開きます。
テンプレート	テンプレート名を指定します。
範囲	レポートの範囲を指定します。
スコープタイプ	デバイスまたはファブリックのレポートを生成するかどうかを指定します。
ステータス	<p>レポートのステータスを指定します。ステータスメッセージは次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> 完了 成功 実行中 FAILED 警告 スケジュール済み 不明ファイル
ユーザ	レポート生成を開始したユーザを指定します。
繰り返し	レポートが生成される頻度を指定します。
作成時刻	レポートをいつ作成するかを指定します。
内部	レポートがユーザによって作成されたかどうかを指定します。Nexusダッシュボードファブリックコントローラレポートがユーザによって作成された場合、値は <code>false</code> です。

このタブで次のアクションを実行できます。

アクション	説明
削除	レポートを削除できます。 (注) 内部レポートは削除できません。
比較 (2 レポート)	2つのレポートを並べて比較できます。レポートの詳細は、論理的にセクションにグループ化されます。 コマンドは、デバイスでコマンドを実行するために使用されるテンプレートと API に基づいて表示されます。たとえば、[switch_inventory] テンプレートでは、show version、show inventory、および show license usage コマンドを実行して情報を取得します。コマンドは、show_and_store API を使用してデバイスでコマンドを実行する場合にのみ表示されることに注意してください。
ダウンロード	レポートをダウンロードできます。ダウンロードするレポートを複数選択することはできません。

